

○「温泉コンシェルジュ実習」と連携した授業ですので、事業内容の関連に留意してください。

授業内容※授業のまとめりにごとに、プログラムを簡潔に記述する

| 具体的な授業計画 | 授業者 |
|--|--|
| <p>1. 温泉（観光）情報発信の方法を学ぶ。（1限目～6限目）</p> <p>日本一の温泉湧出量を誇る別府には、別府ならではの資源、歴史、文化等がまちに息づいています。情報発信者としてそれらを実際に体験・納得することが、信頼度の高い情報発信へと繋がります。また、ターゲットを明確にし、中・長期的な発信の手段をとることで、長く愛され、深く印象に残る情報となることを目指します。</p> <p>1) 必要とされるWEB上での情報発信法（1時限～3時限）</p> <p>WEBで発信するとメリットとして、情報が常にリアルタイムで提供できること、冊子等の他の情報発信媒体と連携を取りやすいこと、情報が拡散しやすく反応を拾いやすいことなどが挙げられます。情報の内容によって、HP・ブログ・SNS等の手段から適切な方法を選択し、その特性を生かした情報発信方法を学んでいきます。</p> <p>①授業ガイダンス（授業の概要と授業計画）</p> <p><15時間の授業概要>シラバスの説明、講義と演習、最終プレゼンと模擬接客等の本講座の狙い、進め方など</p> <p><グループ分け>実習を進めるためのチーム編成</p> <p>②③情報収集方法演習</p> <p><情報収集>情報の収集方法やその情報を並べたり、関係づけたりの演習で、自らの足で現場に赴き、資源に触れ、まちの人の声を聞くことがとても重要です。ターゲットを思い浮かべ、「なぜその情報を発信したいのか」を念頭に置き、情報を収集していく方法について学びます。</p> <p><事例研究>「別府ならではの」プロジェクトの事例を学ぶ</p> <p>【事例：「旅手帖 beppu」(2011年～)】</p> <p>情報に敏感で、発信力の高い20代～30代女性を主なターゲットに据えて、「お散歩」「グルメ」「歴史」「人」といった、異なるテーマで全4号に渡り、別府のまちの魅力を伝えるマップと冊子を制作しました。WEB版では、冊子に掲載された全ての店舗情報を掲載しており、WEB閲覧者は条件から検索した店舗をサイト上の地図に落とし込むことにより、自分だけのマップを作ることが出来ます。これにより、用意された情報を享受するのみではなく、能動的にまちを回遊し、歩くことで別府の魅力を自らの価値観で探す旅のスタイルを提案しています。</p> <p>また、2012年に「別府現代芸術フェスティバル2012混浴温泉世界」が開催された際には、まちを知ることで、より作品への理解を深めるためのガイドブックとして特集号を発行しています。WEB上ではそれらを連動させ、別府の新たな魅力の発見へ</p> | <p>安達美和子</p> <p>BEPPU PROJECT 利光 友紀</p> <p>宮川園</p> |



グループ協議、講義内容をとおして、チームごとに温泉めぐりプランをプロデュースする企画をプレゼンテーションする。訪問先となる関係者にも参加してもらい、意見や感想を出し合います。

⇒フィールドワーク・・・講義⑤⑥との関係から現場で学ぶ

※明礬温泉エリア（湯の花小屋・地獄蒸しプリンなど）

※鉄輪温泉エリア（蒸し湯・湯治宿・湯あみせんべいなど）

2) 温泉熱を利用した産業を学ぶ（12限目）

⑫温泉熱利用

<温泉の楽しさ>日本の多彩な温泉の楽しさ

<温泉の可能性>別府温泉のエネルギーの可能性

高温の温泉あるいは噴気というものがある地域に比べて多く、これは地熱という発電から考えると非常に有利で今後発電に対する利用が増えていくのだろうと思われれます。もの凄い勢いで地表に噴き出す蒸気と熱水。膨大な量もさることながら、エネルギーの高さにおいても別府温泉が他を圧倒しています。再生可能エネルギーの普及に向けた様々な取り組みが行われていることを学びます。

安達 文俊

4. 別府温泉のサービスメニューを学ぶ（13限目～15限目）

⑬⑭⑮様々な温泉サービスメニューと情報発信

<湯めぐりプラン>北浜温泉街の取り組み等から、ホテル・旅館の仕事内容について知り、アプローチの仕方を学ぶ。

同組合は1911年9月20日に設立後、別府観光の礎を築いた故・油屋熊八翁も代表者を務めた「別府市旅館組合」は、市中心部や観海寺温泉地区を中心に市全域に組合員がいます。明礬（みょうばん）旅館、鉄輪旅館、鉄輪やまなみ旅館各組合とともに市旅館ホテル組合連合会の組織等を学びます。

<サービスの実現>

サービスを実現するために必要なコト、モノ、ヒトの連携と情報発信の必要性を学びます。

タツノコプロの人気キャラクターを活用したキャンペーンでは、全国の旅行会社、JRグループ、雑誌社などの関係者との連携により魅力ある観光素材やイベント等の紹介をしました。その効果を教えていただきます。

2006年NPO法人BEPPU PROJECTとして法人化しさまざまな取組みを別府の町で展開されてきました。その活動がどのように「別府観光の新しい価値の創造」へと反映されているか等を学び、お客様の要望に合わせたさまざまなオプションを組み合わせることで、最適な温泉をベースとしたサービスの提供と発信の手法を学びます。

ホテル旅館組合

BEPPU PROJECT

山出 淳也

※BP 対象：双方向、実地、実務家教員 計11コマ

| 授業科目名 | 必修・選択 | 単位 | 学期曜・限 | 対象者 | 担当講師名・事務連絡先 |
|--|--------------------------|----|----------|-----|---|
| 温泉コンシェルジュ実習Ⅰ 「楽しみ方の提案」 Practice for the Spa Concierge 1'Proposal of a way to enjoy' | 選択 ※コンシェルジュ 認定者は必修 | 2 | 通年 集中 | 2年 | 主担当講師：別府市観光協会 |
| <p>【授業のねらい】 温泉コンシェルジュに求められるものは、総合的な案内を通して顧客のニーズに最大限に対応するための現場の状況を認知し、顧客のニーズに適切に対応することです。その知識を身につけた人材が各職場に存在することが求められます。</p> <p>本授業は、他の授業で学んだ様々な知識を実習をとおして、実感として学び、身につけた感覚で顧客へ提供できる知識と能力を養うものです。「まちあるき」や「温泉巡り」の体験、観光施設、レストラン、宿泊施設、交通、広域観光等を体系的な知識として学び、感覚として身につけます。更に、実際に別府を訪れるお客様を対象とした現場での実践を行い、様々な目的を持った顧客に対してのコミュニケーション能力と提案能力の習得を図ります。</p> | | | | | |
| <p>【具体的な到達目標】</p> <p>1. 学習内容</p> <p>① (別府) 温泉コンシェルジュに必要な知識や資質・能力を理解し、説明できる。(A-⑤)</p> <p>② 別府の魅力・特色を知り、顧客の求めるプログラムを作成しようとする。(B-①・B-②)</p> <p>2. 習得する資質・能力等</p> <p>① 他人の話に耳をよく傾け、適切な対応をしようとする心ができる。(C-①・C-③)</p> <p>② 顧客や職場等の考えを理解し、多様な価値観を受容しようすることができる。(C-②・C-④)</p> | | | | | |
| 【授業の内容】 | | | | | 講師(予定) |
| <p>*全ての授業は、90分×3コマの連続講座の設定です。</p> <p>1. 別府・大分県の観光を知る。(1時限～6時限)</p> <p>1) 別府市内の観光素材(1時限～3時限) *別府市内の観光施設・宿泊・グルメ・交通</p> <p>2) 大分県内の観光素材(4時限～6時限) *大分県内の観光施設・グルメ・交通</p> <p>2. 「温泉八湯 おもてなし事典」アプリの活用と実践(7時限～12時限)</p> <p>3. まちあるき・温泉巡り体験(13時限～18時限)</p> <p>1) まちあるき体験(12時限～14時限)</p> <p>2) 温泉巡り体験(14時限～21時限)</p> <p>4. 観光案内実習(22時限～30時限)</p> <p>1) 観光現場での案内実習(22時限～30時限)</p> | | | | | 観光協会 ツーリズムおおいた 別府八湯ウォークガイド 温泉道名人 |
| <p>【時間外学習】 ○独自に現地を見学したり、資料を収集したりファイル化したりしなければなりません。その積み重ねが最終レポート作成に必要です。</p> | | | | | |
| <p>【教科書】 ○特定の教科書は使用しませんが、各講師が授業ごとに資料を配付します。最終的にはその資料からのテストの出題をします。また、グループ演習での作品製作も行います。</p> | | | | | |
| <p>【成績評価の方法と評価割合】</p> <p>①授業時の課題対応：ミニレポートや学習課題への対応：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～</p> <p>②専門性：関係者での模擬接遇：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～</p> <p>③責任感や積極性等の授業中の態度：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～</p> | | | | | |
| <p>【注意事項】</p> <p>○実地研修に必要な経費は別途徴収します。</p> <p>○別府市内の温泉を基盤にした別府観光の現状を体験する授業ですので欠席は認められません。</p> <p>○万一、不慮の場合で欠席した場合は、欠席した体験活動の補填をしていただきます。</p> | | | | | |

授業内容※授業のまとめりごとに、プログラムを簡潔に記述する

| 具 体 的 な 授 業 計 画 | 授 業 者 |
|--|--|
| <p>*全ての授業は、90分×3コマの連続講座の設定です。</p> <p>1. 別府・大分県の観光を知る。(1時限～6時限) 別府市内、大分県内の一般的な観光素材を体系的に習得します。 習得する情報は、観光施設、宿泊施設、グルメスポット、交通等となります。また情報源となりうるホームページやガイドブックなども学びます。</p> <p>1) 別府市内の観光素材(1時限～3時限) 別府市内の観光施設・宿泊・グルメ・交通などの観光関係の概要に関する学習をします。</p> <p>①授業ガイダンス 「温泉コンシェルジュ実習Ⅰ」の学びの概要と授業計画を説明する。 <15時間の授業概要>別府・大分県の観光を知る・まちあるき・温泉巡り体験・観光案内実習</p> <p>②③別府市内の観光施設・宿泊・グルメ・交通を学ぶ <別府市内及び周辺にある観光施設の紹介、アクセス> ・宿泊施設のバリエーション(杉乃井ホテル・スタンダードホテル・旅館・民宿湯治宿・ビジネスホテル・ゲストハウスなど) ・グルメ とり天、冷麺、プリン、関アジ・関サバ、フグ、焼肉など ・亀の井バス(グルスパ)、大分交通、定期観光バス、観光タクシー</p> <p>2) 大分県内の観光素材(4時限～6時限) 大分県内の観光施設・グルメ・交通などの観光関係の概要を別府と比較しながら学習します。</p> <p>④⑤⑥県内の主要な地域見学 由布院・国東・県南など別府からお出かけして楽しむ事ができる大分県内の主要な観光地、グルメ、交通を学びます。 ・由布院の観光、グルメ、交通 ・県北部の観光、グルメ、交通 ・県南部の観光、グルメ、交通</p> <p>2. 「温泉八湯 おもてなし事典」の活用法(7時限～13時限) アプリの機能を知り、活用方法をマスターします。アプリの特徴を十分に生かし、効果的に利用できるよう学びます。</p> <p>⑦⑧アプリの内容を知り、活用法を学ぶ アプリのトップページとおもてなし事典の内容と要素を知り、実際に操作する。 内容は、結構なボリュームがあるので、全体構成はひとりひとりが学び、個々の内容は誰がどの章の担当かを分けて、発表し合います。</p> <p>⑨⑩⑪⑫4国語で実演 アプリを使いながら、実際に英語・韓国語・中国語の発音などを学び、2人組になって知りたい情報を、尋ねる人、答える人となって疑似体験の繰り返しによるトレーニングをします。 後半の授業で、実際に観光現場で実習を想定してシュミレーションする。</p> <p>3. まちあるき・温泉巡り体験(14時限～21時限) 別府市内の少し詳細な地域・温泉の情報について、特色ある地域の体験を通して習得します。 *講師は地域で実際にまちあるきや温泉巡りのガイドをしている人材が担当する。</p> <p>1) まちあるき体験+旅館ホテルのヒアリング(14時限～17時限) ボランティアガイドによる散策コースを体験するとともに地域の宿泊施設にヒアリ</p> | <p>(事務局)</p> <p>別府市観光協会</p> <p>ツーリズムおおい た</p> <p>(事務局)</p> |

| | |
|---|--|
| <p>ングを行い、地域の魅力と宿泊施設を学びます。</p> <p>別府駅周辺のまちあるき体験＋旅館ホテルのヒアリング</p> <p>⑬⑭<路地裏散歩>別府駅周辺の竹瓦かいわい路地裏散歩コースをボランティアガイドに案内してもらい体験する。また、ガイドさんからガイドのことや街のこと、参加して下さるお客様のことを学ぶ。</p> <p><ヒアリング>旅館ホテルを訪ねて、経営者もしくは責任者にヒアリングを行い、旅館ホテルのことやお客様の動向などを学ぶ。</p> <p>*旅館ホテル候補：ホテルニューツルタ・花菱ホテル・山田別荘など</p> <p>鉄輪温泉街のまちあるき体験＋湯治宿ヒアリング</p> <p>⑭⑮<鉄輪湯けむり散歩>鉄輪湯けむり散歩のコースをボランティアガイドに案内してもらい体験する。また、ガイドさんからガイドのことや街のこと、参加して下さるお客様のことを学ぶ。併せて、湯治宿を訪ねて、経営者もしくは責任者にヒアリングを行い、湯治宿のことやお客様の動向などを学ぶ。</p> <p>2) 温泉巡り体験 (16時限～21時限)</p> <p>別府八湯温泉道で名人位を取得した方と温泉を巡り、別府でお客様を惹きつけるものの代表格である温泉を実体験し、観光客を集める魅力を探る。また、課題として、修了までに本授業で体験した温泉と併せて8湯巡って温泉道初段を取得します。</p> <p>また、地域の温泉旅館を訪ね宿泊施設を学びます。</p> <p>⑯⑰⑱機能温泉浴を活用した地域の温泉巡り＋地域の温泉旅館ヒアリング</p> <p><明礬地区・鉄輪地区></p> <p>1湯目できれいシャンプー効果があるといわれる明礬温泉から2湯目にしっかりと保湿リンス効果があるといわれる鉄輪温泉をめぐり、機能浴を活用した体感レポートをまとめる</p> <p>*明礬は「湯の里」＋鉄輪は「ひょうたん温泉」</p> <p>*旅館は岡本屋旅館</p> <p>⑲⑳㉑ツールを活用した温泉巡り＋地域の温泉旅館ヒアリング</p> <p><別府地区></p> <p>別府北浜湯めぐりや温泉本、温泉カルテを利用し、体感する。</p> <p>*旅館ホテルは、山田別荘</p> <p>4. 観光現場での案内実習 (22時限～30時限)</p> <p>22時限までに学んだ情報を元にして、様々な目的を持った顧客に対して、適切な観光案内のできる技術を学びます。チームに分かれ、週末の地獄蒸し工房鉄輪において、案内コーナーを設けて、実際に案内業務を行う。各チームにおいて、事前協議、実践、振り返りをして、各回の反省を踏まえてチームを重ねる毎にレベルアップを図ります。</p> <p>㉒㉓㉔㉕㉖㉗地獄蒸し工房鉄輪の部</p> <p>地獄蒸し工房鉄輪の特設案内スペースにおいてご案内業務を行う。4人1チームに分かれ、2人ずつ交代でご案内を行う。</p> <p>*事前協議においては、鉄輪の手書きの簡易なご案内MAP (もしくは資料) を作成し、実践をへて振り返りを行う。</p> <p>㉘㉙㉚ふりかえり (まとめ)</p> <p>28時間の振り返りと作成した案内マップをプレゼンする。</p> <p><ふりかえりワーク></p> <p><プレゼンテーション>学生同士によるプレゼンテーションを行う。プレゼンテーションでは、案内業務の実践を踏まえて、作成したご案内MAP (もしくは資料) をもって別府観光の魅力を伝える内容とする。</p> <p>*プレゼンテーションは最終試験を兼ねる。</p> | <p>別府八湯語り部の会 ＋地域の旅館ホテル</p> <p>鉄輪湯けむり倶楽部 ＋地域の湯治宿</p> <p>別府八湯温泉道名人会 ＋地域の旅館ホテル</p> <p>観光協会 (事務局)</p> |
|---|--|

※B P 対象：双方向、実地 計 2 5 コマ

| 授業科目名 | 必修・選択 | 単位 | 学期曜・限 | 対象者 | 担当講師名・事務連絡先 |
|--|--------------------------|----|-------|-----|---------------------------|
| 温泉コンシェルジュ実習Ⅱ 「楽しみ方の創造」 Practice for the Spa Concierge 1 'Creation of a way to enjoy' | 選択 ※コンシェルジュ 認定者は必修 | 2 | 後期 | 2年 | 主担講師：末田加良子 (ツーリズムおおいた) |
| 【授業のねらい】 温泉コンシェルジュに求められるものは、総合的な案内を通して顧客のニーズに最大限に対応するための知識と資質・能力です。その資質能力を身につけて人材が各職場に存在することが求められます。 本授業は、他の授業で学んだ様々な基礎的な知識を基にして、実習を通じて温泉コンシェルジュとしての技能を総合的に学び、資質・能力を身につけるものです。具体的には、特定の宿泊施設を素材にして、当該施設の経営者やスタッフとの対話やフィールドワークを通じて、様々な目的を持った顧客に対して新しい過ごし方や楽しみ方を提案する企画力や創造力の習得を図ります。 | | | | | |
| 【具体的な到達目標】 1. 学習内容 ①顧客に対して、別府の様々な地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案を行う (A-⑧) ②関係する職場の特徴、周辺の資源、イベント情報等を調査・収集し、それらを組み合わせ、顧客の滞在価値を高めるマップやニュースレターを作成する。(B-①、B-②、B-③、B-⑥、B-⑧) 2. 習得する資質・能力等 ①自身の知識に加え、人的なネットワークを活用して課題解決を図るネットワーク力 (C-④) ②顧客や職場等の考えを理解し、課題解決の為に提案を行う企画提案力 (C-⑩・C-⑰) | | | | | |
| 【授業の内容】 | | | | | 講 師 |
| *全ての授業は、90分 x 3コマの連続講座の設定です。 1. 宿の想いを知り、過ごし方を提案する。(1時限～15時限) 1) 宿の想いを知る (1時限～3時限) 2) 宿周辺のマップ作り (4時限～9時限) 3) 宿のニュースレター作り (10時限～15時限) 2. 宿の新しいプログラムを創る。(16時限～30時限) 1) プログラム企画 (16時限～24時限) *テーマ設定、企画作り 2) プログラム体験実習と交流会 (25時限～30時限) *プログラム体験 *交流・評価 | | | | | 末田加良子 |
| 【時間外学習】 ○独自に現地を見学したり、資料を収集したりファイル化したりしなければなりません。その積み重ねが最終レポート作成に必要です。 | | | | | |
| 【教科書】 ○特定の教科書は使用しませんが、各講師が授業ごとに資料を配付します。最終的にはその資料からのテストの出題をします。また、グループ演習での作品製作も行います。 | | | | | |
| 【成績評価の方法と評価割合】 ①授業時の課題対応：ミニレポートや学習課題への対応：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～ ②専門性：関係者での模擬接客：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～ ③責任感や積極性等の授業中の態度：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～ | | | | | |
| 【注意事項】 ○実地研修に必要な経費は別途徴収します。 ○別府市内を総合的にプログラミングして顧客へのサービスを提供するので欠席は認められません。 ○万一、不慮の場合で欠席した場合は、欠席した体験活動の補填をしていただきます。 | | | | | |

授業内容

| 具 体 的 な 授 業 計 画 | 授 業 者 |
|---|----------------|
| <p>*実習先の職場（宿）は別府市内の4軒とし、4グループに分けて実習します。</p> <p>1. 宿の想いを知り過ごし方を提案する。（1時限～15時限）</p> <p>他の授業で学んだ様々な基礎的な知識を総合的に身につけ、顧客のニーズに最大限に対応するプログラムを提案するためには、現場で働きながらの学びが重要です。 実習先の宿の経営者やスタッフとの対話を通じて、宿の現状とこれからの方向性を考えます。</p> <p>また、初めて訪れた顧客（マップ）や、何度も来ている顧客（ニュースレター）を想定して、宿周辺を楽しむマップやニュースレターを作成します。 作成の過程においては、宿や周辺地域の観光素材の情報収集や人的なネットワークを活かした様々な企画の訓練を行う事になります。</p> <p>1) 宿の想いを知る（1時限～3時限）</p> <p>実習先となる宿の経営者やスタッフへのヒアリング、意見交換等を通じて、宿の経営方針やマーケティングに必要な各種の情報等を整理します。</p> <p>①授業ガイダンス 授業の概要と授業計画を説明する。 <15時間の授業概要>シラバスの説明、講義と演習、最終プレゼンと模擬接客等の本講座の狙い、進め方など <チーム分け>実習を進めるためのチーム編成</p> <p>②③宿泊施設関係者へのヒアリング調査 宿泊施設関係者へのヒアリングの項目を作成して、実際に体験先の宿泊施設の関係者にとヒアリングするなどして、学習課題を共有する。 <宿泊施設見学>メンテナンス業務、食事サービス業務、厨房調理等業務、フロント業務等を行う施設内見学 <ヒアリング>項目の設定、経営者やスタッフへのヒアリング <実習の目当て>宿泊施設側との実習課題の共有</p> <p>2) 宿泊施設周辺のマップ作り（4時限～9時限）</p> <p>実習先の宿を初めて訪れる顧客向けに宿周辺の楽しみ方を提案するマップを作成します。その作業を通じて、宿周辺の観光素材を知り、顧客への提案力を強化します。 *指導は、観光ガイドブックの編集等の実務を経験している専門家が担当します。</p> <p>④⑤⑥周辺情報収集 マップで観光素材を紹介するために宿泊施設周辺の素材集めをする。 *宿泊施設周辺の現地に出向いての調査 *ネット等を活用しての調査</p> <p>⑦⑧⑨マップ作り</p> | <p>末田加良子 他</p> |

収集した観光素材の整理、配置をして、コンシェルジュとして顧客へ提案した周辺マップを作成する。

<マップ作成>宿周辺マップの作成

<マップ紹介>各チーム毎の発表および評価



周辺マップのイメージ

3) 宿泊施設のニュースレター作り (10時限~15時限)

実習先の宿を何度も訪れるリピーター顧客向けに、宿への再訪を促すニュースレターを作成します。その作業を通じて、宿の訪問価値を考え、顧客への提案力を強化します。

*指導は、観光ガイドブックの編集等の実務を経験している専門家が担当します。

⑩⑪⑫宿の素材集め

宿泊施設を紹介するニュースレターを作成するため、体験先の職員へのインタビュー、ネットを活用した資料情報収集をする。

<企画>全体構想とニュースレターで紹介する素材の検討

<情報収集>ネット等を通じての情報の収集

⑬⑭⑮ニュースレター作り

体験先宿泊施設情報を整理して、ニュースレターの作成と発表を行う。

<ニュースレターの作成>実習宿のニュースレターの作成

<ニュースレター紹介>各チーム毎の発表および評価

2. 宿の新しいプログラムを創る。(16時限~30時限)

顧客は別府に訪れる目的によってニーズが異なります。宿泊施設での実習を通して、宿泊施設で顧客に提案できる滞在プログラムを創造します。プログラムのテーマは実習先の宿の顧客層や経営方針に応じて各班が設定します。

*プログラムの企画は、ワークショップ形式で進めると共に、チーム相互で実際に体験をすること等を通じてプログラムの評価を行います。

1) プログラム企画 (16時限～24時限)

宿泊施設におけるユニークなおもてなしプログラムを、次のテーマから2つ選んで企画します。

- キレイになるプログラム
- ゲンキになるプログラム
- 3日間滞在するプログラム
- ファミリーで楽しむプログラム
- 外人さんが楽しめるプログラム

⑩⑪⑫テーマ設定の為のワークショップ

各チームで2種類のプログラム設定し、設定したプログラムの作成のための練習を行う。

<プログラム設定>各宿にふさわしい2種類のプログラムのテーマを話し合いにより決定

<企画練習>プログラム企画の方法を理解するための仮テーマによるワークショップの実施。

⑬⑭⑮テーマ1企画

班ごとのワークショップを行って、1つ目のプログラムを企画し、顧客へ提案できるような詳細な打ち合わせを行う。

<素材収集>プログラムの素材の整理

<プログラム企画>スケジュール、費用、運営に関しての企画立案

⑯⑰⑱プログラムテーマ2企画

班ごとのワークショップを行って、2つ目のプログラムを企画し、顧客へ提案できるような詳細な打ち合わせを行う。

<素材収集>プログラムの素材の整理

<プログラム企画>スケジュール、費用、運営に関しての企画立案

<発表>各チームのプログラムの発表と相互評価

⑲⑳㉑プログラム体験実習

各チームが企画したプログラムを受け入れ側と顧客側に分かれて相互に体験し、プログラムの評価と改修を行う。

(実習先宿泊施設)

<プログラム1体験>チームを2チームに分けて、片方が受入、もう一方が体験する

<プログラム2体験>受け入れと体験を入れ替わって実習

*日程を2つに分けて行います。

㉒㉓㉔成果発表・相互評価・まとめ

プログラム体験と改修後のプログラム提案を行い、最終的なプログラム企画資料を作成する。

<発表会>各チームによるプレゼンテーション、受入先の宿の経営者/スタッフによる感想

<評価>全体交流会での実習等による相互評価

<全体のまとめ>インターンシップノートの作成

| 授業科目名 | 必須・選択 | 単位 | 学期曜・限 | 対象者 | 担当講師名（所属） |
|---|--------------------------|----|-------|-----|----------------------|
| 温泉医療療養指導 | 選択 ※コンシェルジュ 認定者は必修 | 2 | 後期 | 2年 | 主担当講師：前田豊樹 （九州大学） |
| <p>【授業のねらい】※前段は、授業をおこなう背景や求められているもの（こと）、後段は15時間の授業のねらいの概要及び中心的なねらいを記述する 世界一の温泉源泉数を誇る別府市を擁するおんせん県おおいたは、本邦における温泉利用の中心的都市として、健康増進に向けたプロフェッショナルアドバイザーとしての温泉コンシェルジュを育成するのに絶好の地域である。超高齢社会を迎えた本邦における「元気で長寿」を目指す温泉利用の重要性は、ますます高まるものと考えられる。 本授業は温泉コンシェルジュの知識として求められる「温泉の健康への影響」、「温泉の医療効果」に関する適切なアドバイスを一般温泉利用者に提供できるよう、温泉に関する医療総合的知識の習得を目指す。</p> | | | | | |
| <p>【具体的な到達目標】・・・※前半は授業内容の括り毎に記述し、後半は重要な資質能力等を記述する（別添資料参照）</p> | | | | | |
| <p>1. 学習内容</p> <p>①安全な温泉利用法を説明できる。（A-⑨） ②健康増進目的の温泉利用法を説明できる。（A-⑨） ③持病がある方の温泉利用上の注意内容を説明できる。（A-⑨）</p> <p>2. 習得する資質・能力等</p> <p>①温泉による健康・医療について、温泉の様々な効能と泉質の関係を基にして、一般的な温泉利用の利点と危険性、体質や症状に応じた温泉利用についてのアドバイスが出来る。（C-⑱） ②顧客のニーズや情報を収集・分析し、適切に判断して効果的なプログラムを提案できる。（B-⑥）</p> | | | | | |
| 【授業の内容】 | | | | | 講 師 |
| <p>1. 温泉医療についての総論を学ぶ。（1時限～6時限）</p> <p>1）医療における温泉の意義（1時限～2時限） 2）日本の温泉の国際的な位置づけ（3時限） 3）温泉の医療効果の根拠（4時限～6時限）</p> <p>2. 温泉が個々の代表的な疾患に対して及ぼす影響について学ぶ。（7時限～15時限） ＊循環器系疾患、呼吸器系疾患、免疫・アレルギー疾患、ストレス、代謝性疾患、肝臓・消化器疾患、婦人科・泌尿器科疾患、呼吸器系疾患、骨・関節疾患（予定）</p> | | | | | 畑 洋一 前田豊樹 ほか |
| 【時間外学習】 | | | | | |
| ○各自で行う、医療施設に置ける温泉プールや鉱泥浴の見学、現場での説明レポートなどを行う。 | | | | | |
| 【教科書】 | | | | | |
| ○教科書ではないが、以下の参考図書を用いる | | | | | |
| ①新温泉医学 日本温泉気候物理医学会編 ②新入浴温泉医療マニュアル 日本温泉気候物理医学会編 | | | | | |
| ③温泉療法 久保田一雄著（金芳堂） ④新版 温泉療法 大塚吉則著（クルーズ） | | | | | |
| 【成績評価の方法と評価割合】 | | | | | |
| ①授業での知識：ペーパーテスト：L1:60点～L2：70点～L3:80点～L4:90点～L5:95点～ | | | | | |
| ②授業時の課題対応：ミニレポートや学習課題への対応：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～ | | | | | |
| ③専門性：関係者での模擬接遇：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～ | | | | | |
| ④責任感や積極性等の授業中の態度：L1:60～L2：70点～90点～L3:90点～ | | | | | |
| 【注意事項】 | | | | | |
| ○欠席は原則として認めない。 | | | | | |
| ○やむを得ない事情がある場合は、事前に文書で届け出を行い、承諾を得ること。緊急事態の場合は、事前電話連絡とし、事後に文書で届け出ること。 | | | | | |
| ○届け出を行った欠席分については、授業内容について指定資料を元にレポートを作成して提出すること。（形式は、随時指示するものに従うこと） | | | | | |

授業内容

| 具体的な授業計画 | 授業者 |
|--|-------------|
| <p>1. 温泉医療についての総論を学ぶ。（1時限～6時限） 温泉は健康・医療に効果があると言われ、様々な疾病への活用がされている。ここでは、入浴法や温泉環境、健康への効果などを総合的に学ぶ。</p> <p>1) 医療における温泉の意義（1時限～2時限） 本当に健康に良い効果的な温泉利用の方法と保養地医療について学ぶ。</p> <p>① 温泉概論 温泉利用の概要について説明し、特に温泉利用の安全管理について学ぶ。 <15時間の授業概要>シラバスの説明 <温泉入浴法>本当に健康に良い効果的な温泉利用法、温泉についての避けるべき危険（ベカラズ集）を学ぶ。</p> <p>② 保養地療養 温泉利用の医学的効能の概論、特に保養地の利用について学ぶ。 <温泉を取り囲む環境>温泉治療の効果を左右する周囲の環境を学ぶ。 <保養地での過ごし方>短期滞在から長期滞在まで、その滞在型による望ましい保養地での過ごし方について学ぶ。</p> <p>2) 日本の温泉の国際的な位置づけ（3時限） 高齢者（別府市温泉アンケート調査も紹介）、海外の温泉、温泉医療と保険について学ぶ。</p> <p>③温泉利用と健康 別府で行った疫学調査の結果や外国の温泉治療について学ぶ。 <疫学調査>世界に先例のない、別府市における温泉利用と健康に関する大規模疫学調査について学ぶ。 <外国の温泉治療>外国の温泉治療の実情について、医療保険面を含めて本邦と比較検討する。</p> <p>3) 温泉の医療効果の根拠（4時限～6時限） 温泉医療の様々な効果の根拠を学ぶ。</p> <p>④温泉の物理的効果と化学的効果 温泉が生体に対して医療効果をもたらすメカニズムについての科学的な紹介や、要因温度、水圧、溶質をはじめとする温泉の物理的および化学的効果要因について学ぶ。</p> <p>⑤特殊入浴と人工入浴剤（医療施設見学？） 温泉には、特定の病態に効果の高い特別な温泉が存在し、温泉地以外に住む人が自宅でも温泉効果を実感したいという人の入浴剤について、温泉浴あるいは特殊浴に近い効果を入浴剤にどのくらい期待できるのかを学ぶ。</p> | <p>前田豊樹</p> |

⑥温泉の健康増進効果

温泉が身体に及ぼす好ましい効果とはどんなものか。健康増進、生活習慣病を初めとする慢性疾病の予防やそれらの疾患に対する治療効果のメカニズムを学ぶ。

2. 温泉が個々の疾患に対して及ぼす影響について学ぶ。(7時限～15時限)

温泉はその成分によって疾患への効果が異なる。ここでは代表的な疾患として循環器系疾患、呼吸器系疾患、免疫・アレルギー疾患、ストレス、代謝性疾患、肝臓・消化器疾患、婦人科・泌尿器科疾患、呼吸器系疾患、骨・関節疾患(予定)を取り上げて、それぞれの効果について学ぶ。

⑦～⑨循環器系疾患

循環器系疾患である高血圧や不整脈、心臓リハビリテーション、その他への効果について学ぶ。

<高血圧や不整脈>温泉の血管やストレスに対する作用を学び、高血圧や不整脈といった心疾患に対する温泉の医療効果について学ぶ。

<心臓リハビリテーション>虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)など様々な病態から慢性心不全状態の患者に対する心臓リハビリテーションの一環としての温泉療法の適応とその効果について学ぶ。

<その他の効果>末梢循環障害を来す閉塞性動脈硬化症やレイノー病などに対する温泉の効果に加えて、血液の粘稠度の異常や血管の狭窄、閉塞につながる凝固異常に関して、血小板や血液の凝固能、線溶能やその異常に対する温泉の効果について学ぶ。

⑩呼吸器系疾患

慢性呼吸器疾患である喘息をはじめとする慢性呼吸器疾患に対する温泉の効能、特に、普段息切れを来しやすい方への効果を医学的に学ぶ。

⑪免疫・アレルギー疾患、ストレス(線維筋痛症を含む)

関節リウマチ、線維筋痛症、変形性腰椎症、頸肩腕症候群などで、慢性的な節々の痛みや筋肉痛に悩む方への温泉の効果と適切な温泉利用法について医学的に学ぶ。

⑫代謝性疾患(糖尿病など)、肝臓、消化器疾患

糖尿病、痛風等の生活習慣病に加えて、便秘、胆石などの肝臓病、消化器病に対する適切な温泉利用について医学的に学ぶ。

⑬婦人科・泌尿器科疾患

婦人科や更年期障害、腎臓・膀胱等の疾患に対する適切な温泉利用について医学的に学ぶ。

<婦人科疾患>としては、主として更年期障害に対する効能

<泌尿器科疾患>腎臓、膀胱に対する温泉効果から泌尿器科疾患への治療効果

⑭神経系疾患

脳に対する効果、主として脳卒中慢性期（回復期～維持期）における温泉の治療効果について医学的に学ぶ。

⑮皮膚科疾患（褥瘡を含む）、骨、関節疾患

皮膚科疾患や骨・関節疾患における温泉の治療効果について医学的に学ぶとともに、「温泉医療療養指導」の授業のまとめをする。

<慢性皮膚疾患>アレルギー性皮膚炎、乾癬など温泉が有効とされる慢性皮膚疾患について学ぶ。

<骨、関節疾患>関節リウマチ、変形性関節症、変形性脊椎症、骨粗鬆症などに対する温泉の効用について学ぶ。

<まとめ>授業の重要な内容についてのまとめ

| 授業科目名 | 必須・選択 | 単位 | 学期曜・限 | 対象者 | 担当講師名（所属） |
|--|--------------------------|----|-------|-----|--|
| 健康トレーニング | 選択 ※コンシェルジュ 認定者は必修 | 2 | 後期 | 2年 | 主担当講師：住田 実 （大分大学） 協同担当：陶山 俊介 （別府溝部学園短期大学） |
| <p>【授業のねらい】</p> <p>国民的な課題としての健康・体力づくりに関する知識や指導能力は、温泉コンシェルジュの基本的な資質・能力ともいえます。この場合、温泉地を利用する一般市民の意識や動機としては、3つの方向が考えられます。1つは、一般市民として生涯を通して健康な生活を送るための健康・体力づくり。2つは、競技スポーツの愛好者にとっての体力養成やコンディショニングづくり。3つは、病気やけがの回復期におけるリハビリテーションとしての温泉地の活用です。そこで、健康・体力づくりやリハビリテーションに関する基本的な知識、プログラムの提供、関連施設の紹介サービスに係る能力は、温泉コンシェルジュとしての資質としても大いに期待されます。</p> <p>本授業では、スポーツ・医療・リハビリ施設を兼ね備えた温泉地・別府という地域を想定しながら、別府温泉コンシェルジュに必要なものが何なのかを幅広く学びます。</p> | | | | | |
| <p>【具体的な到達目標】</p> <p>1. 学習内容</p> <p>①温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法が分かる。（A-⑩）</p> <p>②別府のトレーニング・医療・リハビリ施設に関する知識がある。（A-⑩）</p> <p>③温泉を活用した健康トレーニングやリハビリテーション、広く癒しや健康増進に関する基本的な知識がある。（A-⑩）</p> <p>2. 習得する資質・能力等</p> <p>①信頼関係を築き、親和的な態度で接することができる。（C-③）</p> <p>②温泉を活用した健康・体力トレーニングやリハビリに関する知識を基にして、課題解決に向けたプログラムを提案できる。（C-⑱）</p> | | | | | |
| 【授業の内容】 | | | | | 講 師 |
| <p>1. 健康・体力づくりやリハビリテーションに関する基本的な知識を学ぶ。 （1時限～4時限）</p> <p>2. 温泉プールを活用した健康・体力づくりやリハビリテーションの方法を学ぶ。 （5時限～10時限）</p> <p>1) 温泉プールを活用した健康・体力づくりの方法</p> <p>2) 温泉プールを活用したリハビリテーションの方法</p> <p>3. 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設の訪問学習（11時限～13時限）</p> <p>4. 温泉を活用した健康・体力トレーニングやリハビリに関する個別の課題を想定して課題解決に向けたプログラム作成（14時限～15時限）</p> | | | | | 住田 実 陶山俊介 |
| 【時間外学習】 | | | | | |
| ○ 【授業の内容】 の4に関連して、必要に応じて別府のトレーニング・医療・リハビリ施設を訪問する。 | | | | | |
| 【教科書】 | | | | | |
| ○特定の教科書は使用しません。 | | | | | |
| 【成績評価の方法と評価割合】 | | | | | |
| ①授業での知識：ペーパーテスト：L1:60点～/L2：70点～/L3:80点～/L4:90点～/L5:95点～ | | | | | |
| ②授業時の課題対応：ミニレポートや学習課題への対応：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～ | | | | | |
| ③専門性：関係者での模擬接遇：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～ | | | | | |
| ④責任感や積極性等の授業中の態度：L1:60～/L2：70点～90点～/L3:90点～ | | | | | |

●水中ウォーキングの方法

水中では体重が低減するという特質などを利用して、普通歩行以外のバリエーション・ウォーキングを行なうことができます。

- 後ろ向き歩き・・・後ろを向いて歩くことです。普段は使わない身体の裏側の筋肉を鍛えることができます。また腰痛の予防にもなります。
- フロントランジ歩き・・・ウエイトトレーニングでフロントランジを行なう際のように一歩一歩を大きく踏み出して歩きます。陸上ではかなりの筋力の持ち主でないとできない歩き方ですが、水中では比較的容易に行なえます。また近年注目されている「大腰筋」を鍛えることもできます。
- キック・ウォーク・・・一歩ごとに空手の前蹴りのように足を蹴りだして歩きます。足の筋肉の強化が期待できます。
- ジャンプ・ウォーク・・・水中で跳ねながら歩きます。陸上でおなじことをしたら大きな衝撃が下肢にかかりますが、水中なら衝撃が大幅に低減されま

す。

その他、個人の体格・体力等にあった水中ウォーキングのフォームを各自の実践の中から見出していくことも大切です。

2) からだにやさしいスロートレーニングによる筋肉づくり

競技スポーツ選手のみならず、一般の中高齢者を対象とした健康・体力づくりにおいて注目されているスロートレーニングについても学びます。水中ウォーキングと同様からだに対する負荷が軽減されたトレーニング方法は、リハビリテーション分野においても注目されており、健康・体力づくりやリハビリテーションに関する基本的な知識、プログラムの提供を担う温泉コンシェルジュとしての資質としても大いに期待される内容です。

スロートレーニングとは、最大筋力の 50%程度の不可により、ゆっくりとした動きで筋肉トレーニング（以下、筋トレ）をすることです。スローで筋トレを行うと、筋肉が太くなる効果が高まることは、実は以前から経験的に知られていましたが、最近の研究でその効果が科学的に実証されたものです。

スロートレーニングは、負荷が小さくて済むトレーニングなので、高齢者にはもちろん、腰痛やヒザが痛い人にも行いやすいものです。血圧があがりやすく通常の筋トレに不向きとされてきた高血圧や、動脈硬化の進んだ人にも同様です。

スロートレーニングによる成長ホルモンの分泌は、組織を成長させ、からだを動かすために大切な腱やじん帯、骨を丈夫にする効果もあります。骨粗しょう症の予防にもなります。また、新陳代謝を高める効果もあるとも言われています。

※スロートレーニングは、通常の筋トレと比較すると負荷が軽くて行いやすいトレーニング方法ですが、腰痛、ヒザ痛、高血圧など、不安がある方は、医師やトレーナーに相談してから行う必要があります。

また、スロートレーニングを行っている教室では、減量や内臓脂肪のスリム化といった効果の報告もあります。これに有酸素運動を組み合わせると、さらにダイエットの効率が高まるという報告もあり、スポーツ選手のみならず一般の中高齢者の健康・

住田 実

陶山 俊介

体力づくりの指導力も期待される担う温泉コンシェルジュとして大切な内容です。

3) 温泉プールを活用したリハビリテーションの方法

温泉プールを活用した健康・体力づくりにおいて、競技スポーツ愛好者にとっての体力養成やコンディショニングづくりのほかに、病気やけがの回復期におけるリハビリテーションとしての温泉プールの活用も効果的です。そこで温泉プールにおけるリハビリテーションに関する基本的な知識、プログラムの提供、関連施設の紹介サービスに関わる能力も、温泉コンシェルジュとしての資質としても大いに期待されます。

前述のように水中では体重が低減するので、運動時に下肢にかかる衝撃が大幅に軽減されます。そのため足や膝を故障している人、肥満気味の人、あるいは運動不足の人に有効であり、リハビリテーションに適した運動といえます。そこでプロのスポーツ選手のリハビリテーションの方法としても、多く取り入れられるようになっていきます。また、水中ウォーキングは怪我や故障を起こすことの少ない運動であることから、妊婦・幼児・高齢者・障害のある人なども比較的安全・快適に行なうことができることも大きな利点です。

住田 実
陶山 俊介

住田 実
陶山 俊介

3. 別府のトレーニング・医療・リハビリ施設の訪問学習（11時限～13時限）

病気やけがの回復期におけるリハビリテーションとしての温泉地の活用として、温泉地・別府のトレーニング・医療・リハビリ施設の訪問学習を行います。各施設を訪問して、施設の特徴に応じた健康・体力づくりやリハビリテーションに関するプログラムの提供、関連施設の特徴について調べて、グループ発表します。

4. 温泉を活用した健康・体力トレーニングやリハビリに関する個別の課題を想定して課題解決に向けたプログラム作成（14時限～15時限）

温泉を活用した健康・体力トレーニングや病気やけがの回復期におけるリハビリテーションに関する「個別の課題」を想定して、課題解決に向けたプログラムや温泉地の活用について、グループ学習により作成します。そこで、健康・体力づくりやリハビリテーションに関する基本的な知識、プログラムの提供、関連施設の紹介サービスに係る能力は、温泉コンシェルジュとしての資質としても大いに期待されます。

【資料】

- ① 日本スイミングクラブ協会・編『アクアフィットネス・アクアダンスインストラクター教本』、大修館書店、2008年
- ② ミミ・ロドリゲス・アダミ『アクアフィットネス』産調出版、2007年
- ③ 橋 雄介『歩くだけで若返る！プールウォーク超入門』東邦出版、2013年
- ④ 久野譜也（監修）『10分で十分筋トレ（付録：DVD）』NHK出版、2006年
- ⑤ 久野譜也（監修）『[NHKきょうの健康] 転倒予防の簡単筋トレ』NHK出版、2007年
- ⑥ 久野譜也（監修）『[NHKクローズアップ現代] 寝たきり予防の簡単筋トレ』NHK出版、2002年

